

東彼杵町子ども読書活動推進計画

令和 4 年 5 月 1 日改定

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにしていきます。そしてまた、先人の築き上げた思想や知識に触れることによって、考える力や情操を養い、人生をより深く豊かに生きる力を身につけます。特に、幼少期での本との出会いは、その後の人生における読書量を決める時期になると言われています。

しかし、近年の子どもたちを取り巻く環境は、テレビやゲーム、インターネットやスマートフォン等の新たな情報通信手段が急速に発達し、デジタル化された情報が社会に多く氾濫する中、生活環境の変化や価値観の多様化等による、「読書離れ」「活字離れ」が懸念されています。

このような現状や課題を踏まえ、夢と憧れと志を持って自ら学び、考え、行動し、多様な人々と連携・協働しながら、変化の激しい社会を生き抜く力を身に付けた子どもたちの育成のため、自主的・自発的に読書に親しむことができるよう社会全体で環境の整備をしていくことが必要です。

東彼杵町においても、その意義を踏まえた事業をより計画的に実施するため、「東彼杵町子ども読書活動推進計画」を改定しました。

計画の策定方針

基本方針は、「発達段階に応じた読書環境の整備」です。

この基本方針に基づき、次の観点から子どもの読書活動の推進に取り組みます。

1. 子どもが読書に親しむ機会の提供に努めます。
2. 読書環境の整備・充実に努めます。
3. 関係機関の連携を強化します。
4. 啓発広報活動を推進します。
5. 子どもの自主的な読書活動を尊重します。

主な内容

【推進体制の整備と啓発広報の推進】

1. 学校図書館支援事業等の推進。
2. 図書ボランティアや他図書館など関係施設との連携の推進。
3. おはなしの部屋の活用と読み聞かせやおはなし会などの開催。
4. 「子ども読書の日」及び「読書週間」の取組の充実と啓発。



【家庭・地域における読書活動の推進】

1. 保護者への啓発及び読書のきっかけづくりの推進。
2. 子育て支援センターなどでの絵本の紹介。
3. 読み聞かせやブックトーク、エプロンシアターなどに関する研修資料の提供。
4. ボランティアと連携した読み聞かせの開催。
5. 青少年向け図書の充実と紹介。

【図書室における読書活動の推進】

1. 情報発信の充実。
2. 子どものための行事や季節に即した催しの充実。
3. 読み聞かせや乳幼児向けおはなし会、イベント等の実施。
4. 児童書の充実と相互貸借など他図書館等関係施設との連携。
5. 子どもの図書室見学や職場体験受入れの実施。

【学校等における読書活動の推進】

1. 学校における読書の機会の充実。
2. 魅力ある学校図書館づくりの整備。
3. 児童・生徒による主体的な活動の推進。
4. 学校図書館を活用した学習活動の充実。
5. 司書教諭や図書館司書補助の整備と充実。